

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		担当部署	市民環境部 スポーツ課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市体育振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="20"/> 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			21 年度
(小項目)		スポーツ・レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興			
基本事業	2	スポーツ活動の推進		終期	<input type="text" value="未定"/>

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 総合型地域スポーツクラブ						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	生涯スポーツ社会の実現を目指して、誰もが気軽に参加できる住民主体の総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	総合型地域スポーツクラブに対して、活動支援として補助金の支出や活動施設の使用料の減免等を行うとともに、将来的には自主財源を主とする、自立した総合型地域スポーツクラブを目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		参加人数(のべ)	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	NARUTO総合型スポーツクラブ及び一般社団法人NICEへ、活動支援として補助金の支出や活動施設の使用料の減免等を行うとともに、将来的には自主財源を主とする、自立した総合型地域スポーツクラブとなるよう支援を行った。 また、生涯スポーツ推進事業やチャレンジデーでのイベントを通じて、総合型地域スポーツクラブの普及や活動の支援も行った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	プログラム開催回数	2,000	2,571	1,800	1,800	1,800	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	参加人数(のべ)		24,040	29,740	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			185.9	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	200	200
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	200	200
		決算額	0	0	0	0	200	200
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.2	0.0		1,447		1,647	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名: 総合型地域スポーツクラブ支援事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	200	200	200	200	200
	うち一般財源	200	200	200	200	200
	人件費	1,427	1,447	1,447	1,447	1,447
	総事業費	1,627	1,647	1,647	1,647	1,647

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	様々なプログラムを提供しているため、誰もが気軽に参加できるものとなっている。
	効率性	B:概ね効率的だった	スポーツ振興に興味のある人に、ボランティアでの手伝いを求めたり、必要経費の削減にも努めている。
②成果に対する評価	指標名	参加人数(のべ)	
	目標	16,000	人
	実績	29,740	人
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	住民の誰もが気軽に参加できるプログラムを実施し、開催回数や参加人数も多く確保できている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	総合型地域スポーツクラブが地域に根ざしたクラブとなり、自主財源を主として継続的に自立した活動ができるための方策及び支援のあり方を、両団体を交えて協議しながら考えていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	引き続き、両団体が自主財源を主とし、継続的に自立した活動ができる総合型地域スポーツクラブとなるよう方策及び支援のあり方を検討していく。			
	H31年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。			